

知っていますか？



「キーンコーンカーンコーン」・・・授業の始まりや終わり、給食。掃除の時間など、学校の日課を知らせる時報です。1950年代半ばからチャイムが普及しました。加太小学校のチャイムの設置は、はっきりした記録はありませんが学校沿革史には、昭和38年9月下旬に校内放送施設の整備を行うと記載があります。整備されるまでの時報は、学校の職員が、手持ちの鐘を「ガラン、ガラン」と鳴らしながら、校内を回って知らせました。

当時の学校の時報の知らせ方は、地域のよって様々で、手回し式のサイレンやベル、木の時報板、太鼓などが使われていたようです。チャイム式に変わった後も、停電の時に使われたり、夏休みの地区水泳の出入水の合図に使われたりしました。写真の鐘には「昭和26年10月 西部中学校加太分校」と刻印されています。現在は、校長室の陳列棚に並んでいますが、今も、加太小学校の歴史を刻み続けています。